



人生は有限です。しかし、まるで魔法のようにこの時間を何倍にも膨らませる方法があります。

他者の体験を共有する！



ここ数週間、県外出張が頻繁にありました。県外へ行ったときによく立ち寄るのが書店です。ネット社会になり、情報を得やすくなった反面、ネットでの書籍購入などにより地方の書店が減りました。その影響もあり、都会の書店には専門書を含めて地方では見られない本があります。また、その地方ならではの話題の本に出会うこともあります。

1冊の本が出版されるまでには長い年月が必要です。みなさんも実習のレポートや作文など、文書にまとめる作業をしますね。その作業のためにどれだけの時間を費やしましたか。その時間とは構想をまとめたり実際に書く時間だけではありません。実習であれば実験を行う時間、その実験を行うための知識を学ぶ時間。作文であればその内容をまとめるために必要な体験や感情の変化に費やした時間もあります。

このように考えると1冊の本はその人の何年、何十年の月日の積み重ねの結果仕上げられたものであることが分かります。私たちは読書をとおして、他の人が長い年月をかけて体験して得た知識や考え方をわずか数時間で学ぶことができます。これほど時間を有効活用できることはありません。最近、働き方改革という言葉をよく聞きますが、読書は時間を有効活用するためのツールであるといえます。

ネット上の動画サイトには同様に参考となるコンテンツがたくさんあります。動画には動画の良さがありますが、読書には読書の良さがあります。読書は臨機応変に自分のペースで読む速度を変えたり紙面を行ったり来たりしながら考えをまとめていくことができます。この柔軟さは動画より読書の方が勝ります。

人の寿命には限りがあります。これを読書で何倍にも広げてみませんか。個人の思考や感情はそれぞれの体験がベースになっています。読書によって他者の体験を自分の体験に取り込むことで、あなたの思考や感情はさらにステップアップしていきます。



今年は暑い夏がいつまでも続いていましたが、一気に冬になったように感じます。結果として秋が短くなってしまいました。秋の余韻がもう少し感じられる今、とりあえず1冊本を読んでみませんか。誰かの体験をあなたの体験にして思考と感情を成長させてください。

校長 松川 明義

【行事予定】21日(火)：発電所見学 電気科1年

22日(水)：出前授業「プレストレスト・コンクリートについて」建設科2年土木コース

24日(金)：体験的活動等休業日



米工 HP